

会 議 録

(1)会議概要

会 議 名	平成 30 年度 第 5 回泉大津市参画と協働のまちづくり推進会議		
開 催 日 時	平成 31 年 2 月 20 日 (火) 19 時～21 時		
開 催 場 所	泉大津市役所 2 階 202 会議室		
出 席 者	委 員	久委員、大久保委員、高寺委員、湯川委員、忠岡委員、三井委員、岡根委員、小橋委員、川上委員	
	そ の 他		
	事 務 局	吉田総合政策部長、池側市民協働推進課長、野村市民協働推進課長補佐、山本市民協働推進課総括主査、中島市民協働推進課係員	
傍聴の可否	可	傍聴者数	0 人
会 議 次 第	1 開会 2 平成 3 0 年度事業報告について 3 平成 3 1 年度の取り組みについて 4 その他 5 閉会		

(2)議事内容

○以下、事務局による進行

1. 開会

- 吉田総合政策部長あいさつ
- 委員紹介、事務局紹介
- 会長あいさつ
- 資料確認

○以下、会長による進行

2. 案件

①事務局より「平成30年度事業報告について」を説明（記録省略）

その後、委員による質疑応答

委員からの主な意見・指摘事項等
<p>■ モデル地区でのまちづくり協議会設立について</p> <p>小学校区単位という新しい枠組みであるまちづくり協議会は、大変興味深い。これまでの、単位自治会、福祉委員や防犯委員、泉大津市社会福祉協議会が掲げる小地域ネットワーク、セーフコミュニティ等それぞれが行ってきた活動との整合性については疑問が多い。今後の動きに注目したい。</p>
<p>■ 事業の成果やフィードバック</p> <p>資料から読み取れるように、市民協働という観点から様々な事業を行っていることが窺える。しかし、事業を行ったことに対する成果指標の記述が無い項目も多い。事業のフィードバックを行うためには成果指標がある方が良い。例えば、市のフェイスブックに記事を掲載した場合は、「いいね」の数やコメントの数で市民の関心が分かるだろう。電子媒体は特に評価しやすいので参考にさせていただきたい。</p>
<p>■ 職員研修について</p> <p>熱意ある公務員が生まれるよう工夫していただきたい。熱意ある公務員は、市役所の枠を飛び越えて、他自治体の熱意ある公務員と繋がる。そこから新しい事業が生まれてくることもあり、地域との結びつきも出てくると考える。</p>

委員からの主な意見・指摘事項等

■ 市民活動の広報活動について

市民活動団体等が自身の活動に対して広報活動を行っても、期待した結果を得られないことが多い。公益活動の広報について、行政は協力手法を工夫してはどうだろうか。

②事務局より「平成31年度の取り組みについて」を説明（記録省略）

その後、委員による質疑応答

委員からの主な意見・指摘事項等

■ 事業全般について

色々施行錯誤している状態であると見受けられる。来年の報告を基に意見等していきたい。

③「その他」

委員、事務局ともに議題無し

○以下、事務局による進行

3. 閉会（記録省略）